

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 15 - 2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	消防資機材整備事業					
評価者	担当課名	消 防		担当係名	警防係	
	管理職	職名	支署長(課長)	作成者	職名	係長
		氏名	渡邊 孝司		氏名	佐藤 和幸
事業の概要	町民の生命財産を守るため、老朽化した資機材の更新及び整備をする。				全体計画 (平成 20 年度～ 23 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,567 千円 事業費計 3,567 千円	
実施方法	■ 直 営		民間委託	その他 ( )		
第 5 期 総 合 計 画 (前 期)		■ 登 載 事 業		非 登 載 事 業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単 位 施 策	1 #REF!				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地 方 債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	967 千円	900 千円	1,200 千円	500 千円	千円
	合 計	967 千円	900 千円	1200 千円	500 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	更新機器の性能及び規格の確認	災害事故等緊急時における救命率向上及び重症化率抑止		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	保有機器と更新機器の互換性を優先した。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	23年度
		① 資機材数(空気呼吸器3基整備)	目標値	1
			実績値	1
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	保有機器(部品)の再利用が図られた。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
会議	機種選定にあつては、展示及び試着を実施し、職員間で協議を重ねた。			
入札	同種・同規模の資機材との競争入札を実施。			

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	消防の使命である、災害から町民の生命財産を守るために必要。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	災害時の対応強化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率 的／課題あり	判断の理由	軽量化により災害現場での活動が容易になる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	災害時の対応強化が図られた。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
初期の目的が達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

継続／現状維持		
複雑・多様化する災害に適応した資機材の計画的整備を図る。		

\* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  終了  休止  廃止

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 15 - 3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	救急業務体制整備事業					
評価者	担当課名	消防		担当係名	警防係	
	管理職	職名	支署長(課長)	作成者	職名	
		氏名	渡邊 孝司	氏名	佐藤 和幸	
事業の概要	現在の救急活動において、救急救命士による高度な救命処置は必要不可欠である。 このため雄武町における全ての救急活動において、救急救命士の人数が不足しているのが現状であり、救命士による高度な救命処置を全ての町民に対して実施するには、救急救命士資格者の新規採用を図るとともに、現在活動中の救急救命士が生涯研修(2年間で128時間以上)及び各研修において手技の向上を図っていかなければならず、この整備事業が必要である。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
		国・道支出金			千円	
		地方債			千円	
		その他			千円	
		一般財源			8,136 千円	
	事業費計			8,136 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ( )			
第5期総合計画(前期)	■ 登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単 位 施 策	1 #REF!				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	126 千円	355 千円	5,250 千円	740 千円	540 千円
	合 計	126 千円	355 千円	5250 千円	740 千円	540 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員(救急救命士)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)
【抱える課題やニーズは】	救急活動の充実	救急救命士の維持(4名)及び研修の実施
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	全ての救急現場に救急救命士が出勤し、町民全てに高度な救命処置を実施したい。	指標(指標計算式/解説)
		① 救急救命士気管挿管研修
		目標年度 24年度
		目標値 1
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	救命率の向上及び予後に抱える後遺症の軽減	実績値 1
		達成度 100.0 %
		② 救急救命士新規採用数
		目標年度 24年度
		目標値 1
		実績値 0
		達成度 0 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)		
消防学校	消防学校に依頼し、気管内挿管研修の実施	
病院派遣	道立紋別病院に依頼し、医師の指導のもと研修の実施	

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	現有救急救命士の生涯研修及び実習は義務付けとなっている。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	現有救急救命士の生涯研修及び実習については達成できたが、 新規救急救命士は不採用であった。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	生涯研修及び各実習が終えたことにより、町民に対し高度な救急処置を実施できることとなった。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	救急救命士資格者の増員となれば、より多くの町民に対し高度な救急処置が実施できる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>	<b>B</b>	
救急救命士資格者採用にあつては、募集しているが現在のところ採用者が無く、今後も募集及び救命士学校に依頼していく。 救急救命士の研修については、手技の向上が認められるため今後も必要であると考え。		

今後の展開方向

(Action)

<b>継続／現状維持</b>	<b>継続／現状維持</b>	
継続してこの状態を維持していかなければならないが、新規採用者にあつては、広く募集をしなければならないと考える。 町民にとって高度な救急処置を実施し、安心できる町づくりを目指すには、継続事業であることが適当である。		

\*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更    ○ 終了    ○ 休止    ○ 廃止

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--